



「Uスタイル」が可能にした
広がり感と街並みへの配慮

M様邸

施工前は1台分のガレージでしたが、アー
ル屋根をジョイントして2台分のゆったり
したスペースにリフォーム。フレームと
屋根の自由な組み合わせで、広々とした
アプローチ&ガレージができあがり、フ
ロントヤードとの一体感がある快適なフ
ァサード空間になりました。



フリー配置の「Uスタイル」が
人と車のスムーズな動きを実現しました

平行四辺形の土地に設けたカーポート。
Uスタイルだから、こんな風に柱を塙の脇
に逃がしながら、2台分のスペースを確保。
玄関から車への行き来もスムーズで、快適
な空間づくりができました。



M・N様邸

エクステリアのイメージが描きやすい工夫をこらした
ショールームを開設



株式会社 シービーホーム 広島県福山市

代表取締役社長 金只京三氏

お客様の個性とライフスタイルに
いかに合わせるかが課題です

当社は、地域のお客様に生活の楽しさやライフスタイルに応じた
プランを提案することがポリシーなので、ショールームでは商品
やカタログだけでなく、ガーデンを含めたエクステリアを具体的
にイメージしていただける工夫をしています。
エクステリアへのお客様の要望は年々具体的になり、機能性はも
ちろんのこと、デザイン性への関心が高くなっています。ライフ
スタイルにあったエクステリア、今まで有効に使っていなかった
アプローチ部分の利用、そしてトータルに調和のとれたエクステ
リアデザインのご相談も増えています。特にフロントに作るカー
ポートは家の外観に大きく関わることをよくご存知で、色、素材、
デザインにこだわる方が多いですね。Uスタイルは、デザイン性
が高く、様々な敷地形状に対応できるのでオリジナル性もでき
ます。家の個性を引き出しながら、街並みと調和したカーポート
が実現するのが大きなメリットです。
今後の課題は、お客様それぞれのライフスタイルに応えたガーデ
ンエクステリアづくりだと考えています。敷地に合わせ、スペー

スを有効利用し、お客さまに楽しんでいただける個性豊かでア
ート性を高めた提案を心がけています。そのためには、私たちも経
験をひろげ、勉強していかなくてはいけないと考えています。

設計のポイント

M様邸（上写真）

“庭を広くとりたい”がお客様のご希望でした。柱のスパンが
カースペース部分の手前と奥とは違う、Uスタイルならではの
プランでお応えできました。屋根はガラスとFRPを使用し、
前面には落ち着いたベージュの塙に調和する色調の電動式ゲ
ートを採用しました。格調の高いモダンなデザインと開放的なイ
メージに加え、使い勝手のよさをお喜びいただいています。

M・N様邸（下写真）は、フロントの変形の敷地を利用して2
台分のカーポートを...シンプルで機能性の高い新感覚のものを
...というご希望でした。また門まわりに柱がないようにとの条
件がありました。これにはUスタイルが敷地の幅に合わせて、
後付けにも対応できるメリットが活かしました。入り口部分に柱
がないので、広々とした門まわりになっています。新興住宅地
であり、街並みへの調和にも配慮でき、デザイン性にご満足い
ただいております。



有限会社 エクステリア東総 千葉県山武郡

代表取締役 大塚 肇氏

「現場第一主義」で、施主様との充分
な会話からプランを創ります

バブルが弾けた時期に創業しましたが、私はそれまでの10年ほど
外壁ブロックのメーカーに勤めており、20年以上もエクステリア
業界に在ることになります。わが社は本来エクステリア商品を販
売店さんに卸す会社ですが、販売店さんからの依頼でお客様宅の
プランニングから関わるケースがほとんどです。これも長年の実
績とノウハウの蓄積による信頼のたまものと自負しています。
プランニング上でのモットーは「現場第一主義」。住宅の立地条
件やお客様のご要望は千差万別で、さらにエクステリアは周辺環
境とのバランスも重要ですから、まず現場を見て、諸条件を考慮
しながらプランニングを進めます。お客様との会話が重要で、家
族構成やライフスタイルから、たとえばスロープや手すりをつけ
る「バリアフリー」などを検討します。また最近の奥様は雑誌な
どからの知識が豊富で、デザイン性を重視されますから、ご希望
の方向をじっくりと話し合うようにしています。
そして、具体的なプラン提示は、現場でパース画を書いてお見せ
しています。キャドでつくる図面はきれいだし便利ですが、私は

お客様の前で描くことにもこだわっています。どんなイメージに
なるのかフリーハンドで描きながら説明することで、安心され納
得されますし、「それじゃ、ここはこうして欲しい」といったご
要望もその場である程度お受けできますから。
わが社の営業エリアは房総一円とひろく、移動するだけで1日費
やしてしまうこともしばしばです。それでも、1軒1軒のご要望
にキメ細かくお応えしていくために、こまめに現場をまわり、お
客様に本当に満足していただけるようなエクステリアをつくっ
ていきたいと思っています。

設計のポイント

〇様邸の敷地は変形した平行四辺形でした。そこに2台分のカー
ポートを設置したのですが、従来の製品を使うと1台分ずつ
ずらさなければなりません。
悩んでいた時ちょうどUスタイルが発売になり、これだ！と早
速採用しました。今までのカーポート製品は必ず屋根の幅で柱
がありましたが、Uスタイルは柱がフリーに配置できるため、
こういった変形のプランにも対応できます。柱が歩行の邪魔に
ならず、アプローチや車の動線もスムーズに取れました。